

様式1 [申し合わせ事項] 【委員会、全協：共通様式】

令和7年10月26日

東員町議会

南部豊 様

東員町議会

伊藤まり

研修報告書

研修期間	令和7年10月23日(木)～令和7年10月24日(金) 【2日間】
研修（視察）先	① 開成町議会（神奈川県） ② 寒川町議会（神奈川県）
目的（テーマ等）	議会広報広聴活動について
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページに記入すること。

様式1 [申し合わせ事項] :【委員会、全協：共通様式】

[氏名： 伊藤まり]

研修概要、内容、所感

1. 開成町 10月23日(木)

【研修概要】 開成町議会の議長、委員長、事務局から『議会だより』の概要、動画による広報の編集などの説明をいただいた後、質疑応答によって理解を深めました。

【内容】

(1) 議会全体の概要と経過

- 開成町は、良好な住環境と子育て支援の充実、および町独自のブランディングを推進した結果、継続的に住民が増加しています。この住民増に対応し、議会が機能を十分に発揮できるよう、平成27年度に通常議会へ移行しました。

(2) 議会運営と情報公開

- インターネット配信：議会の様子をインターネット配信しています。映像の色や文字をバリアフリーにしています。
- 議会報告会：町民プラザだけでなく全地区で実施しています。
- 議場の学習利用：議場を学習の場として町民に開放しています。利用者は増加傾向です。これが発展した出前授業は、議員が学校に出向いて「町が何かを決定する際、最終的な決定は議会」と説明しています。
- インターンシップ：高校生や大学生を対象にインターンシップを実施し、実習生はレポートを提出して修了証を授与されます。

(3) 広報活動（広報紙・ウェブサイト・動画）

- 広報紙のモットー：広報は「目で見て、心で魅了する」をモットーに、まず手に取ってもらうことを重視しています。
- デザイン刷新とダブル表示：令和3年8月にデザインを刷新し、令和4年にはダブル表示に取り組んでいます。
- 動画配信：話した方が良い情報は動画で、スピード一かつ短い時間で発信しています。
- ホームページ(HP)：見たい情報にツークリックでたどり着けるようにし、トップページは毎月更新しています。自己紹介は1分動画でまとめています。
- 委員会活動：動画で委員会の活動内容を伝えています。
- 広報モデル：広報に顔出し可能なキッズモデルを募集しており、その結果、キッズの保護者層にも広報誌を見ていただく効果をねらっています。

(4) 議会の合意形成

- 議会のスムーズな運営と合意形成は、全員がおよそ同じ方向を向いているから。真反対の意見を持つ議員がいないから合意形成が可能になる。

【所感】

広報活動の質を高めると議会の透明性を確保できます。透明性が上がり、議会の

動向、町の意思決定の顛末をリアルに伝えると、住民の議会への関心と参加意識が高まると思います。リアルに伝えるために、開成町のように『議会だより』に加え、動画やモニターを活用するとよいと思います。

2. 寒川町 10月24日(金)

【研修概要】 寒川町議会の副議長、議運の委員長、広報委員長、事務局から『議会だより』の概要、議会のPR活動などの説明をいただいた後、質疑応答によって理解を深めました。

【内容】

(1) 広報紙の制作日数と写真撮影

- 広報広聴委員会は議会運営委員会で構成しています。
- 広報紙制作のための議員による会議は、発行サイクルあたり計2回開催されており、1回目が30分、2回目が2時間と、短時間です。
- 広報紙に掲載する写真は、主に事務局が撮影しています。

(2) 広報紙の特色と議会改革との関係

- 町のブランド戦略に合わせて、寒川町のブランドスローガンとブランドカラーを採用しています。
- 広報紙の裏表紙に議会日程を掲載しています。
- 広告を掲載しています。
- 記事内容は、特に委員会で質疑が多く出た政策を取り上げるなど、関心度に合わせて編集しています。
- 広報活動が議会改革と関連づけられています。議会改革推進委員会が主催する「議会探検ツアー」の取り組みを紹介していただきます。
- 議員が産業まつりに参加することも紹介していただきます。

【所感】

今回の視察で、広報紙を議会運営委員会が制作する手法を知りました。これは、昨年研修させていただいた、住民目線にこだわって編集していたかつらぎ町の手法と対照的です。

広報紙の制作主体が、議会運営委員会と広報担当委員会である場合、どちらが住民にとってより良い広報になるのか、考える機会になりました。

住民が議会広報に期待するのは、身近で関心を持てる紙面、読みやすいデザインだと思います。一方で、『議会だより』は議会が公式に発行する文書であり、議会改革を進めるための重要な手段です。広報を製作する委員会は、広報担当委員会でも議会運営委員会でも、議会のあるべき姿を基準に編集できる未来志向のチームにすることが大切だと思います。

以上

